

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くる～く		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内に、雨天でも体を動かせる広い空間（フリースペース）があること	定期的に室内運動を活動に取り入れている 活動の時以外でも、時間を決めて解放し、体を動かす機会をつくっている	土曜日や長期休暇時の自由時間に、フリースペースを開放し、体を動かしている
2	保護者、利用者に対して柔軟な対応をしていること	不安定な時の1対1による個室対応や、送迎時間等、保護者のニーズに出来る限り応えている	活動や利用者の人数によって、職員配置を増やしている
3	施設内活動だけでなく、屋外活動等、様々な活動を行っていること	運動（プール、体育館）、調理体験（昼食作り、おやつ作り）、買い物体験、お出かけ、外食等様々な経験ができるよう取り組んでいる	利用者の希望を聞き、いろいろな活動に取り入れている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援が出来ていないこと	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理担当職員、視覚障害児支援担当職員、保育士などの専門職の職員を確保できていない	現任の職員が研修など受講し、専門性を高めていく
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が少ないこと	地域の行事でも、障がい者対象の行事にしか参加できていない	地域の行事等に、積極的に参加していく
3	保護者同士の交流の機会や、きょうだい同士の交流の機会がないこと	保護者が必要性を感じていない	必要だと感じてもらえるよう、事業所として何かできないか検討していく